

地震工学委員会

平成 15 年度第 1 回（通算第 15 回）委員総会 議事録（案）

I. 日時 平成 15 年 04 月 25 日（金） 13:00～15:00（研究会），15:20～17:30（委員総会）

II. 場所 土木学会講堂

III. 出席者 田村，伯野の各顧問．後藤委員長，小長井副委員長，竹内幹事長，家村，秋山，麻生，安中，井合，石川，泉，井上，岩崎（代理井上），岩楯，岩本，大塚，大保，小川，海野，片岡，亀田，井上，清野（代理小野），工藤，佐伯，佐藤（清），塩尻，志波，鈴木，高田，武村，田蔵，田村，東畑，常田，年繩，戸松，中村（晋），中村（正），中村（豊），中山，成富，橋本，林，広中，藤間，三浦，水田，目黒，森（敦），森地，吉田の各委員，大友，菅野，鈴木，田中，能島，野田，星隈，堀，松田，宮島，室野，矢部の各運営幹事．（敬称略 五十音順）

IV. 配布資料

資料 15-1 地震工学委員会平成 14 年度第 2 回（通算第 14 回）委員総会および研究会議事録（案）

資料 15-2 地震工学委員会平成 14 年度実施報告概要および平成 15 年度活動計画（案）

資料 15-3 地震工学委員会平成 15 年度委員構成（案）

資料 15-3-2 平成 15 年度地震工学委員会運営幹事（案）

資料 15-4 委員長選出要領，委員長候補推薦リスト

資料 15-5 資料 15-2 と同一

資料 15-6 小委員会設置提案書

資料 15-7 津波被害推定ならびに軽減技術研究小委員会（仮称）

資料 15-8 コンクリート委員会との意見交流会の設置提案と事前打合せ結果について

資料 15-9 報告：橋梁の動的耐震設計について

資料 15-10 地震作用に対する土木構造物の耐震性能評価指針（仮称）について

資料 15-11 地震工学委員会平成 14 年度土木学会各賞の候補推薦結果

資料 15-12-1 第 27 回地震工学研究発表会 実行委員会準備状況

資料 15-12-2 第 27 回地震工学研究発表会 編集準備状況

資料 15-13 第 58 回年次学術講演会研究討論会の企画

資料 15-14 第 58 回年次学術講演会共通セッションへの登録

資料 15-15 土木学会のHPコンテンツについて（普及小委員会検討結果）

資料 15-16 小委員会の終了報告 地震工学における物理数学の新たな応用を模索する研究小委員会

資料 15-17 第 3 回アジア土木技術国際会議について

資料 15-18 委員長改選時期についての提案等

資料 15-19-1 ISO/WD23469 1st Draft

資料 15-19-2 ISO/WD23469 2nd Draft (tentative)

資料 15-20 メカニクス・構造研究連絡委員会 地震工学専門委員委員会報告

V. 議事（研究会ならびに委員総会）

1. 平成 15 年度第 1 回研究会

（1）話題提供 1 「橋梁の動的耐震設計」

大塚久哲委員（動的耐震設計法に関する小委員会委員長，九州大学教授）

（2）話題提供 2 「地盤の非線形地震応答解析の精度」

吉田望委員（応用地質株）

2. 委員総会

2.1 総会成立確認および開会挨拶

出席委員 63 名，委任状 32 名，計 95 名で委員総会の定足数に達していることが確認された。
後藤委員長より，開会挨拶が行われた。

2.2 議長選出

議長の立候補を求めたが立候補者はなく，運営幹事会の提案により野田茂運営幹事が議長に選出された。

2.3 前回議事録（案）の確認

鈴木運営幹事より，資料 15-1 に基づいて前回議事録の確認が行われ，承認された。

2.4 平成 14 年度活動概要と予算収支の報告について

竹内運営幹事長より，資料 15-2 に基づいて，地震工学委員会，運営幹事会の平成 14 年度活動概要と予算収支報告に関する説明があった。その後，各事業小委員会，各研究小委員会の平成 14 年度の活動概要に関する説明があった。

2.5 平成 15 年度委員名簿，新委員の紹介

竹内運営幹事長より，資料 15-3 に基づいて平成 15 年度委員会構成（案）に関して次のような報告があった。

①小委員会委員長より数名の委員候補を推薦していただき，運営幹事会からの推薦を含めて 4 名を新任委員の候補として選出した。

今村文彦氏（東北大学），中山学氏（奥村組），藤間功司氏（防衛大学），森敦氏（日本技術開発）

②運営幹事会より，星谷勝前委員を顧問に推薦することを提案した。

顧問および新任委員 4 名の選出を含めて，平成 15 年度委員会構成（案）は，満場一致で承認された。

後藤委員長より，時々，異動となったので地震工学委員会の委員を後任の方に替わりたいとい

う事で、後任の方を紹介いただくことがあるが、原則としてお断りしており、委員の資格は個人に帰属しているという説明があった。

続いて、中山委員、藤間委員、森委員の自己紹介があった。

2.6 運営幹事の選出

竹内運営幹事長より、資料 15—3—2 に基づいて、竹内運営幹事長と野田運営幹事の 2 名が退任し、新たに次の 3 名が新しい運営幹事候補であるという報告があった。

五十嵐委員、星隈委員、松田委員

運営幹事 2 名の退任と、新任運営幹事 3 名の選出は、満場一致で承認された。

2.7 委員長の選出

竹内運営幹事長より、資料 15—4 に基づき委員長選出要領・手順の説明がされた後、家村委員、大町委員、亀田委員、後藤現委員長、濱田委員の 5 名が委員長候補である、しかし大町委員、亀田委員については、委員長辞退の申し出があり、委員長候補リストから削除することが説明された。

委員長選出要領に則り、第 1 回の投票を実施した結果、過半数を得た候補者が出なかったため、上位 2 候補（家村委員、後藤現委員長）に限って再投票を実施した。その結果、後藤現委員長が、新委員長として決定された。

後藤新委員長より挨拶があった。

2.8 副委員長の指名・承認

後藤新委員長より、副委員長の指名には少し時間が欲しい旨、申し出があった。

その後、後藤新委員長より、家村委員が副委員長として推薦され、満場一致で承認された。

また、後藤新委員長より、小長井現副委員長には、地震工学研究発表会の編集幹事長として、今後も積極的に参画して頂きたい旨の依頼があり、満場一致で承認された。

2.9 平成 15 年度の活動計画（案）と予算計画（案）について

竹内幹事長より、資料 15—5 に基づいて、地震工学委員会の平成 15 年度の活動計画および予算計画について報告があった。

また、各研究小委員会の代表者より、平成 15 年度の各研究小委員会の活動計画の報告があった。

2.10 小委員会設置の提案

岩楯委員より、資料 15—6 に基づいて“地下構造物の合理的な地震対策研究小委員会”の設立主旨等について説明があった。また、藤間委員より、資料 15—7 に基づいて“津波被害推定ならびに軽減技術研究小委員会”の設立主旨等について説明があった。

上記 2 つの小委員会の設立は、満場一致で承認された。

2.11 報告事項等

(1) コンクリート委員会との意見交換について

後藤委員長より、資料 15—8 に基づいて、コンクリート委員会との意見交流会の設置提案と事前の打合せ結果について報告があった。

地震動の規程などの問題を中心として、コンクリート委員会と地震工学委員会で率直な意見交換会を実施することが重要であり、その一環として、両委員会に横断的な「耐震設計連絡準備会」を組織されることになったと説明があった。

(2) 小委員会活動の終了報告

大塚委員より、資料 15—9 に基づいて、“動的耐震設計法に関する小委員会”の活動終了報告がなされた。①「橋の動的耐震設計」の出版、②講習会の開催（6/25（福岡）、27（東京）、8/22（札幌））について説明があった。

(3) 地震作用に対する土木構造物の耐震性能評価指針について

竹内幹事長より、資料 15—10 に基づいて、地震作用に対する土木構造物の耐震性能評価指針（仮称）について、出版目的、方針、スケジュール等について説明があった。

(4) 平成 14 年度土木学会各賞の候補推薦結果について

竹内幹事長より、平成 14 年度の論文奨励賞、国際貢献章にそれぞれ候補を推薦したと報告があった。

(5) 第 27 回地震工学研究発表会の開催準備について

資料 15—12—1 および 15—12—2 に基づいて、第 27 回地震工学研究発表会の実行委員会の準備状況ならびに論文編集委員会の準備状況について報告がなされた。特に、論文の投稿数については、期待された登録数に達していないことや論文募集の連絡が不十分であった可能性があることから、メ切を延期したことが報告された。

(6) 第 58 回年次学術講演会研究討論会の企画について

竹内幹事長より、資料 15—13 に基づいて、上記討論会の内容として「減・免・制震手法による耐震性能の新しい向上策 —動的解析による設計の新たな展開—」が企画されていることが報告された。

(7) 第 58 回年次学術講演会共通セッションへの登録について

竹内幹事長より、資料 15—14 に基づいて、上記のセッションに「都市震災の危機管理」を応募したが、投稿数が少なく、セッションが不成立になったと報告があった。

(8) 土木学会ホームページ・コンテンツについての提案

田中幹事より、資料 15—15 に基づき、土木学会ホームページ・コンテンツについて報告があった。地震防災普及小委員会が中心になって議論を進めた結果、「地震・防災おすすめサイト」と「地震と防災に関するトピックス 20」を提案したことが説明された。

(9) 「地震工学における物理数学の新たな応用を模索する研究小委員会」終了報告について

目黒委員より、資料 15—16 に基づき、地震工学における物理数学の新たな応用を模索する研究小委員会の活動終了報告があった。新しい試みとして SCS を使って講演会を開催し、多くの参加者を得たことやこの委員会の成果について説明があった。

(10) その他

① 第 3 回アジア国際会議講演について

② 委員長改選時期等について

後藤委員長より（資料 15—18）、委員長改選の時期を原則 4 月 1 日するのがよいのではない

か提案があった。また、運営幹事の正当な評価について今後議論する必要があると指摘した。

③ISO23469 について

井合委員より、ISO TC98/SC3/WG10 の進捗条件について報告があった。また、現段階でのドラフト（資料 15—19）が配布され、各委員からの意見を反映したいと意見があった。

④メカニクス・構造研究連絡委員会 地震工学専門委員委員会報告について

家村委員より、メカニクス・構造研究連絡委員会 地震工学専門委員委員会報告「地震防災の技術と科学の質的向上と国際競争力強化」について紹介があった。

最後に、小長井副委員長より退任の挨拶があった。

以上

作成者 室野剛隆